

おいしい 自然園

カブトムシ

No.110

夏の昆虫の王様といえば、誰もが思い浮かべる昆虫です。樹液をめぐってワクワクしながら探した思い出がある人も多いかと思えます。

カブトムシは、6月の中頃から成虫が現れ、夏休みいっぱい姿が見られますが、8月に入ると少し数が減ってきます。幼虫は畑の堆肥たいひが好きなので、畑と森林がセットになっている環境に特に多く、どちらかしかない場所ではあまり姿を見ません。その点では里山の昆虫であるといえます。

大井町には森林も畑も豊富にあるため、たくさんのカブトムシが今でも見られます。昼間のうちにカナブンやヒカゲチョウを頼りにして、樹液がしみ出たクヌギやコナラを探しておき、夜にカブトムシをはじめとする虫たちの生活を観察することは、夏の醍醐味だいごみの一つです。



クヌギの樹液をすうカブトムシ